

突撃インタビュー! 若手・中堅の本音 管理職の

ダイワコーポレーション 田中 佑季さん(25)
ロジポート川崎営業所

知れば知るほど面白い



経験を積み、「さまざまな仕事に挑戦したい」と話す田中さん

から取引先のプロジェクトに関わるなど、活躍の幅を広げている。

田中さんがダイワコーポと出会ったのは偶然だった。学生時代は水泳に打ち込み、就職活動を開始したのは大学3年生の冬ごろ。当初は志望職種・企業を絞らず、「まずは選考活動の経験を積みたい」と考え、いち早く採用活動を開始した企業のうち、応募した1社がダイワコーポだった。

応募するまで社名はもちろん、物流についても知らなかったが、選考が進む中で雰囲気の良い会社に引かれた。「会社説明会では多くの若い社員が活躍し、面接では自身の思いをスムーズに伝えることができた」(田中さん)・目標を合わせて学生一人一人に関心を持とうとする姿勢も好感で、内定後すぐに入社を決めた。

早くから重要な仕事を経験

今春、入社4年目を迎えたダイワコーポレーション(本社・東京、曾根和光社長)の田中佑季さん。「知れば面白みを持つことができる」との考えの下、明るく前向きな性格を強みにさまざまな業務に挑戦。早い時期

現在は中核拠点の一つである「ロジポート川崎営業所」(川崎市)に所属し、商品の在庫管理などの業務を担当。

入社までは工場のライン作業のような仕事を想像していたが、働き始めると、明るい職場環境と経験できることの多さに驚き、物流に対するイメージが大きく変わったとい

う。

一般業務以外に、早い時期から取引先の業務改善に関わるプロジェクトにも参加。入社2年目には、担当顧客の商品品質向上に向け、検品作業の精度や人用性を高めるべく、顧客と話し合いを重ねながら業務工程を構築する仕事に携わった。現在は納期短縮のプロジェクトに関わり、店舗側で他社と差別化を図ることに貢献している。

田中さんが普段から大切にしているのは「知れば面白みを持つことができる」という考え。「物流は内向きの仕事のように見えるが、取引先や集配ドライバーなどからヒントをつかみ、意外な提案ができる。ここが物流の面白さ」(田中さん)。

人の良さが会社最大の強み

また昨年には、ダイワコーポ独自の新卒採用活動「和く和くプロジェクト」に参加。会社説明会チームのリーダーとしてメンバーの意見をまとめ、今年、より多くの学生が集まりやすい渋谷での開催につなげた。

「社員一人一人の人の良さが当社の強み。和く和くプロジェクトで若手社員が学生の採用活動に携わるのも、会社が人の良さに自信を持っているからこそできる」と田中さん。困り事がある際、先輩社員がサポートしてくれることもうれしいとし、今後もさまざまな仕事を通じて経験を重ねたいとしている。

(小林 孝博)